



# オープンキャンパス実施報告

二〇一三年九月中旬、年八回おこなわれる「千葉経済大学オープンキャンパス」が無事終わりました。

今年度のオープンキャンパスにも多くの高校生や保護者の方にお越しいただき、たいへん賑わいのあるイベントとなりました。ご参加ありがとうございました。またイベントとご一緒した。またイベントとして盛り上げるため、本学教職員、オープンキャンパス研究部の学生、部活動関係者も参加してくれた学生には、ご尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

今年度のオープンキャンパスでも、例年同様、本学の魅力を伝える「全体説明会」、本学教員による授業が体験できる「模擬授業」、学内の見どころをまわる「キャンパスツアー」、入試対策のポイントがわかる「課題・面接説明

会」などさまざまなプログラムが行われました。来場された方々は、それぞれのプログラムに、時には真剣に、時には楽しそうに参加されていました。

今年度は、通例のもの以外に、特定の対象者向けのプログラムも複数用意しました。その一つとして、オープンキャンパス参加が今年二回以上の方を対象に本学在学学生との懇談会が実施されました(「再参加者(リピーター)向けプログラム」)。

懇談会では、大学生活、資格取得のための勉強、アルバイトの事などについて、在学生から「生の声」の説明があり、参加者は真剣に聞き入っていました。

また、女子高校生限定に、本学の女子学生たちと「女子トーク」をしながら千葉経済

## 教育実習報告レポート

経営学科4年 岩瀬 貴大

五月二十七日から六月十四日まで、私の母校である千葉県立大多喜高等学校に三週間教育実習を行いました。大多喜高校は一九〇〇年に創立され、今年で一四年になる伝統校です。

私は三年生の政治・経済を担当し、クラス担任は二年B組を担当しました。初日はとても緊張していたのですが、当時教わっていた先生や多くの生徒に助けられてすぐに緊張がほぐれました。実習期間中、できる限り先生方の授業を見学して、良い所を多く吸収していこうとしっかりとメモを取っていき、実習二日目から始まる授業実習につなげていきました。

授業実習では政治分野の憲法の単元を任せられました。教育実習が始まる前に教材研究を行って臨んでいたのですが、なかなか思うように授業を展開することができません

でした。お忙しい中、指導教諭の先生が毎日時間を割いて反省会を開いて頂き、授業実習での良かった点や悪かった点を、教える際のアドバイスなどを頂き、授業実習につなげていきました。

また、生徒との対応にも力を注ぎました。生徒の信頼を得なければ授業は成り立たないと大学の講義で教わっていたので、朝・帰りのホームルームや授業が始まる前・終わった後、休み時間、放課後などを利用して多くの生徒とコミュニケーションを積極的に取っていきました。その成果として、授業運営を円滑に進めることができました。

実習最後の成果として研究授業を行います。研究授業は校長先生・教頭先生を始め、高校時代にお世話になった先生も多く視察に来ていただき、とても緊張しましたが、上手く展開ができたと思って



大学のことを知ってもらった。女子高校生向けプログラムが開催されました。今回は、終了後も一緒にランチしながらおしゃべりを楽しむなど、女子同士、とても仲良く過ごすことができました。この感想を頂いています。さらに、千葉経済大学附属高校生向けには、附属高校出身の本学在学学生や卒業生との懇談会が用意され、大学時代の過ごし方、就職して仕事をするとはどのようなことか等の話を聞く機会もありました(附属校生向けプログラム)。

千葉経済大学の魅力を伝えるため、在学生・卒業生(先輩)と高校生(後輩)が懇談する機会が益々重要となってきます。来年は、さらに在学生・卒業生の協力を得て、オープンキャンパスを充実させていきたいと思っています。

この教育実習を通じて、改めて教えることの難しさを痛感するとともに教育実習でしか体験できない多くのことを学ぶことができました。特に生徒と関わることはめったにない機会だったので、授業の展開などの生の声を聞くことができました。

この経験を通じて、さらなる飛躍を図っていきたくと考えています。

最後になりましたが、お忙しい中教育実習を受け入れていただいた大多喜高校の石川校長先生をはじめ諸先生方に感謝申し上げます。

### 職員研修会を行いました。

## 大学生のメンタルヘルスの基礎知識

学生相談室

九月十二日、十月十日、本学学生相談室の鈴木水季カウンセラー(臨床心理士・保健福祉士)を講師に迎え、職員研修会を行いました。「大学生のメンタルヘルスの基礎知識」というテーマで、両日とも一時間ほどの時間で行い、合計二十六人の本学職員が参加しました。日頃それぞれの窓口で学生に対応したり、部活動やサークル活動などの指導にも携わっている職員ですが、学生理解をより深めるために、大学生の心理や心のケアについて学びました。

身体は健康でも様々な悩みや葛藤を抱える心の健康を損ないやすい青年期の学生たちですが、今回は心の専門家であるカウンセラーが「最近の大学生の心の問題の特徴」や「大

学生の精神的な症状の特徴」「大学生によく見られる精神疾患」などについて講義をし、職員からの質問にも答えながら研修を進めました。

参加した職員からは、「学生の相談に係る中で、このような知識を持つているだけで助かる」「精神面で難しい時期である大学生への関わり方を学ばせてもらった」などの感想が聞かれ、有意義な時間となったようです。

また「このような研修会は、我々学生と接する職員は知識として知っておくべきなので、今後も定期的に開催してほしい」との要望も聞かれました。

「もっと長い時間をとって、具体的に対応方法など実践的なテーマで学びたい」などの意見もあり、今後もより良い学生支援のために、このような職員の研修の場を企画していければと思います。

また、終日連続して授業を行うため学生同士の繋がりが強くなり、休み時間などには一級コースの学生が二級コースの学生を指導するなど、単に簿記の記帳技術を身につけるだけでなく、学生同士のコミュニケーション能力を高める場にもなっています。

とはいえ、目標は「検定試験合格」と決まっていますので、そのレベルに達するため、学生には授業時間内の学習だけでなく、自宅での課題もかなり課されます。



残念ながら途中でリタイアする学生もいますが、最後まで受講した学生には受講前に比べ相当の知識や記帳技術が身につくことは明らかです。会計はビジネスの共通言語といわれ、会社の経理担当者でなくとも必要となる知識です。その会計を理解するためには簿記が必要不可欠です。また、われわれの日常生活(お金の管理など)においても簿記を学ぶ意義があります。まずは簿記の基本を学び、さらには資格取得を目指してみませんか。



## 中畷ゼミ 農業体験報告

演習II

こんにちは！私たちはキャリア・デザイン演習(中畷ゼミ)の三年生メンバーです。七月十三日(土)に埼玉県三芳町にある明石農園さんでお世話になった農業体験について紹介したいと思います。

農業の仕事なら作物の栽培や収穫が主だと思っていた私たちが連れて行かれたところは草木が生い茂る雑木林でした。真夏の猛暑の中で雑草をかまてひたすら刈るという単調な作業には忍耐力が必要でした。

しかし、この経験で私たちは農業という仕事をよく知らなかったことに気づき、農業という職業に対する理解を深めることができました。また、作業を進めるうちに、

畑の周りの環境を良くすると、農業にとって不可欠なことをやらせてもらっていると、感覚が少しずつ湧いてきました。

時には、みんなで声を掛け合いながら効率よく作業に取り組むことができ、今まで以上にまとまりや協調性が生まれました。

作業後に、明石さんが「コウモリとガ」「音いっくつ」「サウンドマップ」などのネイチャーゲームを教えてください、皆で楽しく取り組むことができました。

## 授業紹介

### 経営学・会計学 特別講義 資格取得を 目指して

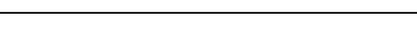
経営学科長 山浦裕幸

大学の前・後期の通常の授業の中でも簿記関連の資格取得を目標とした講義や講座は開講されていますが、この集中講義では問題演習を集中的に行うことにより、実践的な解答力を身につけることを目標としています。

授業は日商簿記検定に対応し、受講者を三クラス(一級コース、「二級コース」、「三級コース」)に分け、専任教員が一名ずつそれぞれのクラスを担当する形で進めています。本年度の夏季集中講義では、それぞれのクラスの受講者が十名程度であり、学生個人個人の進捗度や理解度に合わせた指導が行えたと考えています。

また、終日連続して授業を行うため学生同士の繋がりが強くなり、休み時間などには一級コースの学生が二級コースの学生を指導するなど、単に簿記の記帳技術を身につけるだけでなく、学生同士のコミュニケーション能力を高める場にもなっています。

とはいえ、目標は「検定試験合格」と決まっていますので、そのレベルに達するため、学生には授業時間内の学習だけでなく、自宅での課題もかなり課されます。



残念ながら途中でリタイアする学生もいますが、最後まで受講した学生には受講前に比べ相当の知識や記帳技術が身につくことは明らかです。会計はビジネスの共通言語といわれ、会社の経理担当者でなくとも必要となる知識です。その会計を理解するためには簿記が必要不可欠です。また、われわれの日常生活(お金の管理など)においても簿記を学ぶ意義があります。まずは簿記の基本を学び、さらには資格取得を目指してみませんか。



今回の貴重な経験を存分に活かして、これからの就職活動や大学生活を充実させていきたいです。

# 学芸員課程調査実習



た。一日目は拓本、二日目は実測という作業を行いました。拓本というのは写真や映像では表現できない史跡の質感を表現するのに適した作業です。溝の深さや彫った作業の彫りに画仙紙という紙を、霧吹きを使い水で貼りつけ、タンポという道具で墨を押し付けます。使用する画仙紙という紙が薄い上に水を含んでいるため、破けてしまうことがあり大変でしたが、完成した拓本を見ると細部の彫りの具合をきちんと表現できたので、よいと思いました。

翌日は、雨が降ったため続けて拓本を採る予定から変更し実測の作業を行いました。対象は仏足石という仏様の足を模ったもので、その対象にメジャーと糸で基準を作り、基準を中心として輪郭や紋様からの縮尺を計算しポイントの方眼紙に書込みます。対象の形に合わせそのポイントをいくつも取り、フリーハンドでつなぎ合わせて対象の形状を縮尺として再現します。この技術は紙のサイズの何倍もの大きな史跡等を紙のサイズで表現できます。

実際に六〇分の一のサイズで仏足石の実測を行い、かなり細かい数値でポイントを取って神経を凝らしましたが、完成してみると綺麗に複製できていて感動しました。

二つの作業を実習し、学芸員の資格に一步近づけたことは、本当によかったと思います。

## 歴史班

経営学科4年 亀谷 翔太

大学の夏季休暇中、二〇一三年九月三日(火)、九月四日(水)の両日で博物館調査実習に参加しました。

調査実習は古文書を整理する歴史班、史跡の拓本を取る考古班の二班に分かれて行いました。私が今回所属した歴史班は、菅根幸裕教授ご指導のもと、勝浦市役所にて天和元年(一六八一)〜明治二十二年(一八八九)の勝浦



は古文書の解読の難しさと古文書字典の引き方を改めて知ることができました。今回、ご指導してくださった菅根幸裕教授や勝浦市教育委員会職員などの関係者の方々に協力御礼申し上げます。

## 考古班

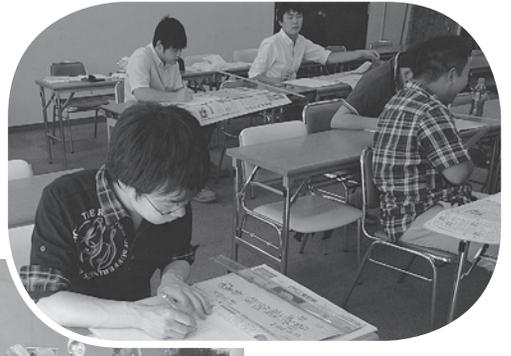
経営学科3年 山崎 彰聡

私は学芸員調査実習で考古班として二日間参加しまし



# 博物館実習を終えて

経営学科4年 坂口 翔一

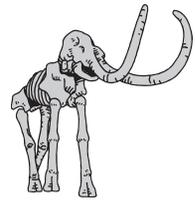


私は八月二十九日、三十日に行われた博物館実習に参加しました。一日目はまずビデオ研修から始まり、その後古文書の整理をしました。大きさや表題、作成年を調べて封筒に記載するのですが、虫食いで字が読めないものが多く大変でした。

二日目には資料清掃ということで、大学にある煉瓦棟に保管されていた線路の枕木を清掃しました。最初は真っ黒な状態で、洗うたびに汚れが出てきてきりがいい作業でしたが、最後には木目がわかるほどにきれいになることができました。

作業が終わってからは千葉県立中央博物館で見学実習に参加し、学芸員の島立さんに案内していただき収蔵庫を見学しました。説明を受け、実際に回ることや資料保管のために注意することや虫の被害を防ぐためにしている工夫を体感しながら学ぶことができました。

貴重な体験をさせてくれた中央博物館の方々には深く感謝しています。今後もこの実習の経験を活かして成長できるように努力を続けていきたいと思っています。



# ガチンコ就活塾に参加して

経営学科3年 佐藤 拓也



私はこの夏休み中に一泊二日のガチンコ就活塾に参加し、様々なことを学びました。この二日間で行ったことは、主にグループ・ディスカッション、グループワーク、集団面接です。

グループ・ディスカッションでは、先輩方が実際の就職活動で課された題材を中心に行いました。ここでは、まず声が小さいことや話し合いの雰囲気や暗いなど、基本的なことができていないと実感し、反省することが多くありました。題材も難しいものから、楽しいものまで様々でしたが、個人的印象に残った題材としては、「原発再稼働に反対か賛成か」という題材です。これは、短い時間内にグループ内で意見をまとめなければいけなかったのですが、様々な意見が出てきて、最終的にひとつの意見に集約することがとても大変でした。私は、意見を出して、目立っていい良いと思っていましたが、先輩方の評価やアドバイスを受け、「自分の意見を通そうとして、周りに合わせない人がいたらグループ全員が本番で落とされる」と言われたことに衝撃を受けました。

次に集団面接では、言葉遣いが適切でない点や企業に対して質問を考えていなかったことなどを指摘されました。特に質問をする場合は、質問の意図が大切であることを教わりました。

私はガチンコ就活塾に参加し、当初は不安を感じていましたが、

「ハミルトンホテル上総」のブライダルサロンで、九月十二日から五日間インターンシップを体験させていただきました。

私は将来ブライダルプランナーになりたいと考えているので、そこでブライダルサロンのあるハミルトンホテル上総での実習を希望しました。また私自身の適性も見極めたいと考えたからです。

インターンシップ初日は期待と不安が入り混じりながら

# インターンシップ体験報告

経営学科3年 唐鎌 奈々

ハミルトンホテル上総の入口に立ちました。実習を指導していただく方にお会いしたとき、「自信を持って頑張ってください」と言われ緊張が解けたのを今でも覚えていますが、業務としては、招待状作成後の手続き、式場準備、クローク担当、停電等の緊急事態の対応、などを学ばせていただきました。またブライダルフェアではモデルもやらせていただきました。

ブライダルの仕事は常に緊張感があり、その緊張が新郎新婦に伝わらないように努めることの大切さを身を持って実感しました。また、実際にお仕事をさせていただいたブライダル業界の大変さと充実感が分かりました。ブライダルサロンは任せられた仕事を何でもやる場所、婚礼当日はお昼を食べる時間もないく



たような気がしました。最終日は台風の影響により停電になってしまい、朝からお客様に緊急対応するなど、本当にいろいろな勉強をさせていただきました。貴重な経験となりました。今回のインターンシップを体験して、ブライダルプランナーになりたいという思いをさらに強くしました。これから始まる就職活動に真剣に取り組んでいこうと思います。



# 父母の会報

## 平成二十五年会会長就任のご挨拶

父母の会会長 芥川 浩



菊花の候、皆様におかれましては、益々ご清栄の事とお慶び申し上げます。

日頃より父母の会活動にご理解とご協力を賜り、役員、事務局一同、厚く御礼申し上げます。

このたび、五月の父母の会総会において、平成二十五年会会長にご推挙頂き、新たに会長に就任することとなりました。前会長村岡洋一様には四年間に亘り、父母の会の運

事である就職においても、改善傾向があるものの厳しい状況が続くものと思われま。このような時代に、キャリアプランを考え、自分の将来の目標を見据えて進路決定をしなければならぬ学生達には、本当に難しい現実に向直しています。

営・発展の為に、尽力されました事を心より御礼申し上げます。

本年も諸先輩方が築かれた成果を学び、父母の会活動に精一杯努めますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

今、国内外は大きな変化の時期を迎えています。金融や産業が世界的規模で変化する中で、生活基盤の揺らぎ、そして、社会は将来への指針を待ち望んでいるように思えます。しかし経済状況が回復したとしても、個人の生活基盤が以前の状態に戻るという展望を見出すことは難しく、厳しい状況が続くのではないかと推察いたします。

学生と保護者の最大の関心事である就職においても、改善傾向があるものの厳しい状況が続くものと思われま。このような時代に、キャリアプランを考え、自分の将来の目標を見据えて進路決定をしなければならぬ学生達には、本当に難しい現実に向直しています。

父母の会では、ゼミ担当教員と保護者・学生の個別面談、就職情報報告会、就職相談会を、大学との共催で年間活動に組み入れ、保護者と教職員が直接懇談して年々変化する教育環境と就職情報を会員の皆様に的確に把握して頂くと共に、日頃の悩みや疑問を個別に聞いて頂く機会を設けております。

本年度も春と秋に個別面談会を開催しましたところ多数のご参加を頂きました。特に九月二十一日に開催いたしました、個別面談会におきまして、就職関連行事として株式会社ジェイソン人事部長様による、「企業が求める人材について」―大学でやるべきこと―のご講演、並びに就職内

## 千葉経済大学懇談会(父母の会)就職関連行事の実施について

九月二十一日(土)、千葉経済大学懇談会(父母の会)就職関連行事として、次の行事



が開催されました。先ずは、株式会社ジェイソンの人事部長である鈴木様から、「企業が求める人材について―大学生活でやるべきこと―」を演題とし、講演をして頂きました。



鈴木様からは、具体的に、社会人基礎力、企業が求める人材、どんな能力を期待するか等幅広い観点からの話がありました。そこで、「就職を勝ち取る為には、大学生としてまず勉強をし、世界観を広げ、コミュニケーション力を鍛えること。大学生活の充実こそ、就職活動の充実に繋がるとい内容の話でした。次に四年生二人から、就職活動体験発表をしてもらいました。これまでも四年生が下級生に対して体験発表を

定者の二名による就職活動体験談につきまして、三・四年生の保護者の皆様・学生・父母の会・大学へ、学生生活で学ぶべきもの、大学と父母の会の協力体制を示唆するものでした。父母の会の重要な役割の一つとして、大学と学生と保護者、そして保護者同士の繋がりを作る事であると思えます。刻々と変化する社会環境の中で、我々父母の会も、従来以上に大学と密接な関係を持ちながら、活動してまいりたいと存じます。

千葉経済大学は本年、学園創立八十周年・大学設立二十五周年を迎えられます。各位におかれましては、大学の益々の発展と、学生への有効な支援へ向け、父母の会の活動に更に積極的にご参加賜りますよう、お願いする次第でございます。

最後にになりましたが、皆様のご健勝とご多幸を記念し、会長就任のご挨拶とさせていただきます。今後とも、よろしく申し上げます。

動全体のながれ、反省点、就職活動を成功させるためのヒント等について話されました。より身近な存在であり、最近まで就職活動をしてきた学生の話ということもあり、参加された父母は、真剣に話を聞かれました。この二人の話で共通した点は、「家族の支え」でした。厳しい就職活動を乗り切るためには、経済的な面だけでなく、精神的な面における家族の支えがあったからこそ、充実した就職活動ができたとの報告でした。

また、この行事の最後には、キャリアセンターから、平成二十六年度(現二年生)から変わる就職活動の開始時期に伴う留意事項等について説明がございました。

# 同窓会報

## 平成二十五年同窓会定期総会・懇親パーティー報告

平成二十五年七月二十七日(土)、毎年恒例となりました同窓会定期総会・懇親会パーティーが、三井ガーデンホテル千葉にて開催されました。

定期総会の前に行われた理事会では、十七名の理事の方にご出席いただき、総会における議事について了承の他、同窓会における今後の運営方法のあり方についても貴重なご意見をいただきました。

定期総会・懇親パーティーでは、本学関係者を含め六十三人、例年とほぼ同様の出席者数でありました。今年度の出席者も「友人同士誘い合わせての出席」「ご夫婦そろっての出席」「お子様連れ

定期総会終了後は、会員全員が楽しみにしている懇親パーティーへと移っていきました。懇親パーティーの中では、退職された先生方からのお話をいただくことができました。また、同窓会から課外活動団体への援助金が支給された団体よりクラブ活動における活動報告がされ、同窓会に對してお礼の言葉が述べられました。各テーブルにおいては、懐かしい顔ぶれが揃い、恩師や旧友との語らいや笑い

声が会場全体に響きわたってました。また今年度の懇親パーティーでは、昨年に引き続きプロのマジシャンによる出席者参加型のマジックショーが行われ、出席者全員が釘付けになる一面もありました。

同窓会事務局では、今後同窓生の皆様に楽しんでいただけるような懇親パーティーを企画していきたいと考えております。来年も多くの同窓生の皆様とお会いできることを楽しみにしております。



久留 都茂子 元本学教授

- 第一号議案 平成二十四年度決算について
- 第二号議案 平成二十五年年度予算について
- 第三号議案 同窓会各種補助金について
- 第四号議案 役員を選任について





# 第26回 大学祭 11/9・10

**第26回 千葉経済大学祭**

テーマ クラウド・クラウドとして新時代へ

ゲスト キングオブコメディ 東京03

11月9日(土) 10日(日) 10:00~

千葉経済大学実行委員会 千葉市稲毛区轟町3-59-5 TEL. 043(253)3801



## 軟式野球部

部長 飯高 稜

私たち軟式野球部は、この秋から同好会から部活動に昇格しました。これからは真面目に取り組み試合でいい結果が残せるように努力していきたいです。

毎週水曜日に大学のグラウンドで活動しています。そのほかにセカンドステージが主催する合宿や新関東リーグにも加盟しており、試合で結果を出すために日々練習に動んでいます。公式戦では、東京の大学や神奈川の大学とも試合をしているのでいろんな場所以と遠征します。他大学の人と交流することができるとても楽しいです。

公式戦以外にも千葉大や千葉商大といった近隣の大学とも練習試合を行っています。チームは、茨城の波崎や千葉の白子で行っています。



ム内で親睦を深めることができ、普段とは違った一面を見ることができるとは嬉しいですね。夏休みに新関東リーグの日程がすべて終わりました。結果は一勝二敗一分けでした。一位になることはできませんでしたが、勝つことができません。来年はもっと上を目指したいと思っています。最後にになりますが、大学関係者の方々、ご父兄の方々、今後とも軟式野球部の応援を宜しくお願いします。

## 部活動 活動報告

### オリジナル創作部

部長 尾崎裕美

私たちオリジナル創作部は、オリジナルの小説や漫画、イラスト、写真などの作品制作を主とした活動をしています。そして、制作した作品は一冊にまとめ、部誌として年に四回学内で配布しております。

活動二年目に当たる今年、四月に新入生に向けた部誌「制服」を発行いたしました。こちらはありとあらゆる「制服」をテーマとした冊子となっており、新入生勧誘の際に配布しました。また、五月末には小規模ではありますが、エステリア二階の自習室を借りて展示会を行いました。三日間という短い期間であったため、あまり多くの方に見ていただくことはできませんでしたが、しかし、私たちの活動は大学祭しか実際の原稿を閲覧に見てもらえる機会

がないため、たとえ僅かでも人に活動を見てもらえる、というのが大きな意義がありました。作品の数が出来次第、ポスター等で十分事前告知をしてから再び行いたいと考えています。夏には創作というものをもっと知っていただくために「創」という題の部誌を発行し、図書館で配布いたしました。おそらく「創作」と一言でいっても普通の人には想像がつかないだろう、ということですが、昨年に引き続き今年も発行しています。特にイラストが一枚出来上がるまでにどういう行程を経ているかや、小説を書く際のプロットについて包み隠さず載せたため、より私たちがどういったことを行っているのか魅せることができたと思っています。この活動も継続的にいっていかないと考えております。配布を終了した昨年度の部誌も大学図書館にて展示をしていただいています。よろしければこちらも手に取っていただきたいです。

私たちは大学祭に向けた部誌の作品制作や、ステージで行うライブペインティング

## 料理研究同好会

部長 飯高 稜

こんにちは、料理研究同好会です。料理研究同好会は今年一月に創部したばかりですが現在部員は十一人いて楽しく活動しています。

さて、活動についてですが、全体での主な活動は月に二回程度、水曜日にミーティングを開いて料理や食材のテーマを決めたあと調理師の先生に決めます。調理は三人対決方式を採用して、出来上がった料理を調理人以外の部員が項目ごとに評価をして順位付けをします。また、対決ではなく共同調理するときもありません。前期ではパスタや丼物などで対決方式を用いました。ほか、肉じゃがや、唐揚げをみんなで作って美味しさを競ったりしています。レシピや評価などは製本して大学祭で発表しました。

調理対決以外にも大学の空き地を利用して畑を作っています。食材をただ買うのではなく、自分たちで作ることによってどうすればいいのかと考えさせられます。畑仕事に慣れない人も多いのでかなり大変でしたが、みんなが頑張った結果、今年はナス、トマト、キュウリなどは上手に育ちました。

料理研究同好会では、部員間の交流もかねて食べ歩きも行っています。今年も、千葉や西千葉のラーメン屋さんを回って、評価をしてみました。



## 親子三代夏祭りの参加して

経営学科2年 大澤祥平

親子三代夏祭りとは、昭和五十一年千葉開府八五〇年を記念して行われたお祭りのことですが、毎年中央公園を中心に行われています。

今年で第三十八回を迎える親子三代夏祭りには来場者数がなんと三十三万人という、大きな祭りでした。

私は、この親子三代夏祭りのボランティアに参加するのは初めてで、どんな祭りなのかはわかりませんでした。参加者ミーティングで来場者数が三十三万人を超えるというので、大丈夫かなと思いましたが、八月十七日祭当日、天候に恵まれ祭り日和でした。私たちの仕事は会場に落ちていたゴミを拾い分別することと、ゴミ捨て場に立つことでの分別を呼びかけることでした。私は、はじめにゴミ拾いをするグループで参加しました。さすがに三十三万人を超える大きな祭りだけに、ゴミもたくさんありました。ゴミを拾っている人から、「暑いのに大変だね」などの感謝の言葉をたくさんもらいました。たくさん人がいる中でゴミを拾うのはとても大変でしたが、私たちがゴミを拾うことで親子三代夏祭りに貢献できているという実感があって、広い会場でしたがぐまぐま回りまわることができました。

親子三代夏祭りは、昭和五十一年千葉開府八五〇年を記念して行われたお祭りのことですが、毎年中央公園を中心に行われています。

今年で第三十八回を迎える親子三代夏祭りには来場者数がなんと三十三万人という、大きな祭りでした。

私は、この親子三代夏祭りのボランティアに参加するのは初めてで、どんな祭りなのかはわかりませんでした。参加者ミーティングで来場者数が三十三万人を超えるというので、大丈夫かなと思いましたが、八月十七日祭当日、天候に恵まれ祭り日和でした。私たちの仕事は会場に落ちていたゴミを拾い分別することと、ゴミ捨て場に立つことでの分別を呼びかけることでした。私は、はじめにゴミ拾いをするグループで参加しました。さすがに三十三万人を超える大きな祭りだけに、ゴミもたくさんありました。ゴミを拾っている人から、「暑いのに大変だね」などの感謝の言葉をたくさんもらいました。たくさん人がいる中でゴミを拾うのはとても大変でしたが、私たちがゴミを拾うことで親子三代夏祭りに貢献できているという実感があって、広い会場でしたがぐまぐま回りまわることができました。

親子三代夏祭りは、昭和五十一年千葉開府八五〇年を記念して行われたお祭りのことですが、毎年中央公園を中心に行われています。



# トレーニングルームをリニューアルしました。

平成二十五年九月にトレーニングルームをリニューアルしました。父母の会からの大学創立二十五周年記念事業として、学生の皆さんからの要望をもとに実現をいたしました。入替に際しては「安全性」と「耐久性」を考慮し、全身をバランスよくトレーニングできることを目的にしています。限られたスペースを有効に活用するために、一台で二種類のトレーニングができるマシンを導入や、従来は無かった「ランニングマシン」も入りました。

レイアウトは四つのゾーンに分かれています。「ストレッチゾーン」では、トレーニング前後の準備・整理運動や目的に応じたバランス・体幹トレーニングなどを行うことができますように、十分なスペースを確保しました。

「有酸素・無酸素ゾーン」では既存のバイクに加え、有酸素及び無酸素トレーニングマシンを配置しました。これによりハイパワートレーニング、ウォーミングアップやクールダウン時の室内でのランニングが可能になりました。

「フリーウエイトゾーン」では、バーベルとプレートを使うフリーウエイト系が中心になります。プレートの散乱を防ぎ、限られた数のバーベルやシャフトを効率よく使えるような配置にしました。

「筋力トレーニングゾーン」は、フリーウエイトよりも安全に且つ効果的にトレーニングが行えるようマシンを設置し、フリーウエイトでは行う事のできない動作を補えます。



今回の入替により初心者から上級者までが安全かつバランスよくトレーニングができるマシンを配置しました。トレーニングルームを利用するには、事前に講習会に参加することが条件になります。学生の皆さんや教職員の方も利用してみたいかでしょうか。

# 総合図書館からのお知らせ

私たちの総合図書館は、この十一月から、バリアフリーの「優しい図書館」に生まれ変わりました。先般、大学シンボルタワー（エレベーター塔）が完成したことにより、大学一号館と図書館二階が連絡通路でつながるようになりました。

これまでは、雨の日に入館する際、濡れてしまうこともありました。今後は連絡通路を利用することにより、雨に濡れることもなくなり、図書館を利用できるようになりました。また、図書館二階の入口に進むには階段を上がなければならないため、身障者の方が大変でしたが、今回完成したエレベーターと連絡通路を利用することにより、入退館も楽になりました。

今後とも、学生の皆さんをはじめ利用者の方がたからご意見を提供して頂き、可能な限り積極的に取り入れる方向で取り組んでまいります。皆さんに読んで欲しい図書や授業に関連する図書、参考書、日本や世界の動向についての図書、就職に関する資料などが多数取り揃えておりますが、残念ながら、図書館の利用はまだまだ十分とはいえません。そこで、一層の改善を図るため、図書館情報を発信する掲示や案内をできるだけ多くして、皆さんに親しみを覚えるよう工夫してまいります。例えば、一階ロビーにパソコンを使った自動案内システム



いろいろな改善に取り組んでまいりましたが、利用者の立場から見ると、まだまだ図書館職員の気づいていない問題点や不便さがあるかもしれません。今後とも、学生の皆さんをはじめ利用者の方がたからご意見を提供して頂き、可能な限り積極的に取り入れる方向で取り組んでまいります。皆さんに読んで欲しい図書や授業に関連する図書、参考書、日本や世界の動向についての図書、就職に関する資料などが多数取り揃えておりますが、残念ながら、図書館の利用はまだまだ十分とはいえません。そこで、一層の改善を図るため、図書館情報を発信する掲示や案内をできるだけ多くして、皆さんに親しみを覚えるよう工夫してまいります。例えば、一階ロビーにパソコンを使った自動案内システム

ンシップ受入れなどを通じて、促進に努めながら、地域への今後とも地域の方がたの利用 貢献を目指してまいります。

## 人事異動

- 昇任 (平成25年10月1日付)
    - ・平林 隆 大学・短期大学部事務局入試広報センター室長補佐
  - 配置換え (平成25年6月1日付)
    - ・京相 吉孝 大学・短期大学部事務局主監
    - ・三上 直美 大学・短期大学部事務局キャリアセンター主任
    - ・杉谷ともみ 大学・短期大学部事務局庶務課
  - 採用 (平成25年6月1日付)
    - ・小石まさよ 大学・短期大学部事務局キャリアセンター室長
  - ・佐藤 裕乃 大学・短期大学部事務局キャリアセンター
- (平成25年10月1日付)

# 千葉経済大学オープンアカデミー

「オープンアカデミー」は単なる教養的な講座にとどまることなく、現代の問題をダイレクトにそしてラディカルな視点で解決していくことを目指しています。今日の先端的な知を代表する講師陣によって、丁寧かつわかりやすい講義が展開されます。現代の問題を正確に理解、分析することを求める全ての市民の皆様、ビジネス、立法、行政に携わる皆様すべてに開かれているオープンアカデミーが開催されます。是非この機会をご利用ください。

## アカデミー政経塾

今年度の政経塾は、長期デフレとその閉塞感にさいなまれていた時代の空気感を急速に変えて見せたアベノミクスに焦点を当ててゆきます。アベノミクスとは何か。アベノミクスは我々をどこへ連れてゆこうとするのか。我々の実体経済とはかけ離れた不安定さを示し続けるアベノミクスの本質とさらにそれを克服する道を探求してゆきます。(全3回：10月毎週土曜日午後の開催となります。定員30名程度 参加費 各回千円 おお物付)

日 程	テ ー マ	講 師
平成25年10月5日(土) 15:00~16:30	アベノミクスと行動経済学 ー日本経済の進むべき道ー	川西 諭 上智大学経済学部教授
平成25年10月12日(土) 15:00~16:30	韓国農業から学ぶ日本の農業・農業政策	金 泰坤 (キム テゴン) 韓国農村経済研究院 (韓国農業ソクソク) 責任研究員 三浦 洋子 本学経済学部経済学科教授
平成25年10月19日(土) 15:00~16:30	アベノミクスかコミュニティ経済か	田代 洋一 大妻女子大学社会情報学部教授

## アカデミー演習

同一担当講師による複数回の講義と、他の講座よりも質問・討論時間を多くとることにより、担当講師との距離を縮め、特定の分野についての深い理解と、単なる既存の知識の反復・吸収にとどまることの無い、新たな知識の創造を行います。本学大学院には経済学研究科が設置されており、本演習は大学院の授業を体験できる場でもあります。また、経済学研究科への入学を考えていらっしゃる皆様への受験・進学相談にも応じます。(全4回：11月毎週土曜日午後の開催となります。定員30名程度 参加費 各回千円 おお物付)

日 程	テ ー マ	講 師
平成25年11月2日(土) 14:00~15:30	経営情報の新しい意味 ①クラウド	藤森 友明 本学経済学部経営学科教授
平成25年11月9日(土) 14:00~15:30	経営情報の新しい意味 ②ビッグデータ	
平成25年11月16日(土) 14:00~15:30	自然環境と環境経営の現状と課題 ①地球環境問題の新しい潮流について考える	山岡 昭吉 本学経済学部経済学科教授
平成25年11月30日(土) 14:00~15:30	自然環境と環境経営の現状と課題 ②環境経営の現段階の課題について考える	

## アカデミー起業塾

日本経済の再生のために必要とされる破壊的イノベーション。そのために今求められる発想法、あるいは既に存在する技術シーズをどのように商品化するのか、研究開発から商品化までを支援する千葉市の様々な活動を紹介、実務家に役立つ実践的な情報、実践的な知を提供してゆきます。また、実際に起業に成功した起業家の方もお招きし、その体験を語っていただきます。起業を志す皆様の問題解決に是非お役立てください。(12月14日(土) 14:00~15:30の開催となります。定員30名程度 参加費 無料)

日 程	テ ー マ	講 師
平成25年12月14日(土) 14:00~15:30	新たなビジネスへの挑戦と 千葉市の支援施策について	公益財団法人千葉市産業振興財団 新事業創出班 主査 梶 智裕氏 女子WEED 代表 高橋 陽氏

会 場：千葉経済大学  
お問い合わせ先：千葉経済大学オープンアカデミー事務局 TEL043-253-9111 E-mail: gakumu-13@ccku.ac.jp



## 平成25年度歴史講座案内

- 名 称 千葉経済大学・千葉市立郷土博物館共同開催「歴史講座」
- 趣 旨 千葉の歴史や文化について、広く市民が理解するように講座を実施します。今年度の内容としては平安時代後期、関東では律令国家の支配力が弱く、豪族の勢力争いの中で「平将門の乱」のような騒乱が度々起こり、治安が乱れていました。房総においてはその中で両総平氏が起こり、後に千葉氏の成立に至っています。そのような時代を中心に講義を行います。また、民衆の信仰について講義を行い、文化への理解を深めることを目的としています。
- 会 場 千葉経済大学
- 講座の内容
  - ①第1回「民衆の信仰と民俗」  
日時：平成25年12月4日(水) 午後1時30分～3時30分  
講師：菅根 幸裕 (千葉経済大学教授)
  - ②第2回「古代後期の房総と両総平氏1」  
日時：平成25年12月11日(水) 午後1時30分～3時30分  
講師：本郷 和人 (東京大学史料編纂所教授)
  - ③第3回「古代後期の房総と両総平氏2」  
日時：平成25年12月18日(水) 午後1時30分～3時30分  
講師：本郷 和人 (東京大学史料編纂所教授)
- 募集人数 200人
- 参加費 無料
- 周知方法 千葉市政だより11月15日号、千葉市立郷土博物館ホームページ等
- 問い合わせ・申込先 千葉市立郷土博物館 TEL 043-222-8231